

発育発達学会 若手の会 始動！

研究や今後のキャリアについて、お話しませんか？

様々なバックグラウンドをもったファシリテーターが皆さんをお待ちしています！

ファシリテーター

松井 公宏 (発起人)

博士取得後4年目

所属：横浜市立大学附属病院児童精神科、職位：特任助教

研究キーワード：子どもの睡眠・生活習慣・メンタルヘルス

現在は定型発達児だけではなく、発達特性を有する

子どもたちのメンタルヘルスに関する研究活動をしています。



城所 哲宏

所属：日本体育大学 准教授

学位：東京学芸大学 博士 (教育学)

テーマ：子どもの身体活動に関する疫学研究、海外でのお仕事：南オーストラリア大学客員准教授、チュラロンコン大学客員研究員。

英国ラフバラ大学の留学をきっかけに、国際共同研究に興味を持つようになりました。

Think globally, act locallyをモットーに研究を進めています。



喜屋武 享

所属：琉球大学 准教授

沖縄生まれ、沖縄育ち。2歳半の娘がいます。学士、修士、博士と全ての学位を琉球大学で取得しました。学位取得後、地元の沖縄短期大学に拾ってもらい、奇跡的に神戸大学、京都大学とご縁がつながりました。

研究のキーワード：学校保健 x 社会疫学。子ども・青少年のヘルスプロモーションを研究しています。



青山 友子

学位：早稲田大学 博士 (スポーツ科学)

所属：国立成育医療研究センター 社会医学研究部 / 研究員

研究テーマ：身体活動 / 運動疫学 / DOHaD / ライフコース / 出生コホート・キャリア：JSPS特別研究員 (DC2 / PD / RPD) / 在外研究 / 国立研究開発法人 / 育児との両立

妊娠期から小児期にかけての身体活動が、将来や次世代の健康にどのようにつながるかを研究しています。



鈴木 貴大

所属：笹川スポーツ財団

学位：立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科修了、専攻：スポーツ社会学、職歴：新卒でエース株式会社入社、2018年より現職。

現在は、子ども・青少年のスポーツライフ・データ、スポーツ白書、地域スポーツ (宮城県角田市との実践連携)、全自治体調査、健康スポーツなど複数の業務に携わっています。



堤 裕美

博士取得：2010年 (筑波大学人間総合科学研究科体育科学専攻)、

勤務先：2010年～札幌大谷短期大学 2016年～上田女子短期大学 2024年～ (公財) 身体教育医学研究所 (指導部長兼研究主任)、研究 (仕事) テーマ：子どもの身体活動促進、あそび場 (居場所) づくり、保育園・学校支援、子育て支援



松永 美咲

博士号取得後1年目

学位取得大学：順天堂大学

所属：順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構

職位：博士研究員

研究のキーワード：

運動習慣形成、フィジカルリテラシー
一言：明るく盛り上げたいと思います！



鳥取 伸彬

学位取得：立命館大学

所属：兵庫教育大学大学院学校教育研究科、職位：准教授

研究キーワード：身体活動、運動介入、MRI、実行機能

一言：教育大学に着任して3年目、教員養成と研究活動の両立に慣れてきました。現在は幼児から中学生を対象に生活習慣と健康に関する研究を行っています。



大石 寛

博士取得後2年目

学位を取得した大学：同志社大学、

所属：佐賀大学教育学部

職位：助教、

研究キーワード：運動疫学、健康地理学

一言：新婚早々最近まで単身赴任していました…子どもの縦断研究のコツを教えてください！



今井 夏子

学位：日本体育大学 博士 (体育学)

所属：国立成育医療研究センター政策科学研究部・研究員

研究テーマ：外遊び、学校保健、実装研究

一言：私自身、キャリア選択では紆余曲折いろいろありました。研究・進路・働き方など、気軽にお話できたら嬉しいです。



3月7日 (土) 17:30~18:30

ポスター会場でお待ちしています！

ビールと軽食もご用意しています。

